

施策名	エゾシカ森林被害対策の推進	所管部局	水産林務部	作成責任者	水産林務部長 中田 克哉	施策コード	07 - 02
		照会先	総務課政策調整G (内28-163)	関係課	森林整備課、道有林課		

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

政策体系	大項目(分野)		中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標
	1	生活・安心	(3)	豊かで優れた自然・生物多様性の保全とその継承	B	人と自然・生き物が共生する社会づくり	エゾシカ個体数指数
北海道創生総合戦略		北海道 強靱化計画	B6212		知事公約	C0142	
特定分野別計画等	北海道森林づくり基本計画						

1 目標等の設定

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 本道の豊かな自然環境は、優れた観光資源や基幹産業である農林水産業の基盤となっているが、急増したエゾシカなどの野生鳥獣は、農林水産業への被害や人身事故の発生など、大きな脅威となっている。 エゾシカの推定生息数は、緊急対策期間の捕獲対策等により減少に転じ始めているが未だ高い水準にあり、道では「エゾシカ対策推進条例」に基づき、適正な生息水準の早期実現に向けた対策を総合的かつ計画的に推進している。 エゾシカによる森林被害面積は、減少しているものの道内全域で発生しており、未だ高い水準で推移していることから、国有林・民有林等の関係機関が被害対策を一体的に実施することが重要である。 	施策目標	<ul style="list-style-type: none"> エゾシカによる森林被害を軽減するため、防除や捕獲などの対策を加速化させるとともに、国有林と民有林が連携し効果的な森林被害対策に取り組む。
-------	---	------	--

施策の推進体制 (役割・取組等)	政策体系	役割等	政策体系	役割等	施策の予算額	
		1(3)B	【鳥獣被害対策】 [道]庁内関係各課で構成する「鳥獣被害対策チーム」において、鳥獣被害対策の総合的な推進を図っている。			H29
1(3)B		【エゾシカ被害対策】 [国・道]国有林と民有林が連携し、効果的な森林被害対策に取り組むため「エゾシカ森林被害対策連絡会」を設置し、各種情報の共有や連携可能な取組の調整及び実施を図っている。			H30	32,106
					R1	30,354

	政策体系	今年度の取組	政策体系	今年度の取組
	今年度の取組	1(3)B	【鳥獣被害対策】 ◎補助事業等を活用し、被害防除対策(忌避剤散布、侵入防止柵設置等)や捕獲対策(銃猟捕獲、ワナ捕獲)を実施する。	
1(3)B		【エゾシカ被害対策】 ◎森林被害の防止及び北海道エゾシカ管理計画(第5期)、令和元年度エゾシカ捕獲推進プランにおける管理目標を実現するため、国や道、市町村等と連携した取組や鳥獣保護区等における捕獲事業を実施する。 ◎効果的な被害対策を進めるため、国有林・試験研究機関による「エゾシカ森林被害対策連絡会」を通じて、①国有林と民有林の被害発生情報の一元化、②事業計画の情報共有、③国・道職員の技術向上研修等を実施する。 ◎道有林において、地域と連携したエゾシカ捕獲のための林道除雪や管理型捕獲(モバイルカリング)を行うとともに、新たに年間を通した捕獲手法の検討や有効利用体制の構築に向けた取組を実施する。 ◎釧路地域(釧路市、白糠町)において、市町村、森林組合、森林管理署、森林室等で構成される広域協議会により、広域かつ計画的な捕獲を実施する。		

前年度付加意見への対応状況(平成31年3月末時点)

<意見区分： 施策目標の達成状況・事務事業の有効性>

	事務事業整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部署の対応(平成31年3月末時点)
施策 事務事業				

<事務事業評価 意見区分： 前年度評価結果への対応など>

	事務事業整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部署の対応(平成31年3月末時点)
事務事業				

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 取組の実績と成果

政策体系	実績と成果等	関連する計画等			備考
		北海道 創生総合戦略	北海道 強靱化計画	知事公約	
1(3)B	<p>【エゾシカ被害対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> エゾシカによる森林被害の軽減に向け、市町村や森林組合等が実施する防除対策への支援を実施した。 (平成30年度実績: 忌避剤散布: 91ha、侵入防止柵設置: 3km) 渡島・石狩・釧路の各地域において、市町村、森林組合、森林管理署、研究機関等の関係機関で構成される広域協議会や森林管理者が実施するくくりワナや囲いワナによる捕獲対策への支援を実施した。 (平成30年度実績: 渡島地域: 21頭、石狩地域: 22頭、釧路地域: 50頭) これまでによる取組により、民有林における森林被害面積は減少した(平成29年度: 2,048ha→平成30年度: 1,908ha) 道有林でのエゾシカ被害対策 (平成30年度実績: エゾシカ捕獲のための林道除雪: 40路線、135km、管理型捕獲(モバイルカリング)によるエゾシカ捕獲: 釧路管理区47頭、小型囲いワナによる捕獲: 網走東部管理区1頭) 		B6212	C0142	

(2) その他の取組の成果等

国等要望・提案状況	<ul style="list-style-type: none"> 森林内でのエゾシカの捕獲や森林被害防除に必要な予算の確保について農林水産省などへ要望を行った。(令和元年7月) 	施策に関する道民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 全道各地の総合開発期成会からエゾシカなど野生鳥獣害防止対策の強化・拡大の要望を受け(令和元年7月)、これら意見を参考に、必要な予算確保について国へ要望している。
-----------	---	-------------	--

令和元年度 基本評価調書

施策名	エゾシカ森林被害対策の推進	施策コード	07 - 02
-----	---------------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
--------------------------------	-----------------

2 連携の状況

2-2 連携の取組状況

(1) 施策間・部局間の連携

(1) 施策間・部局間の連携

政策体系	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
1(3)B	鳥獣被害対策チームでは、関係各部の鳥獣被害防止対策に係る情報・意見交換に加え、構成員が連携して現地での被害実態調査や道民への情報発信を行うなど、総合的な鳥獣被害対策を推進する。	0302	環境生活部環境局生物多様性保全課	・7月に農・林業被害など情報共有のための関係者会議を開催するとともに、農業被害が大きい地域における現地視察やその振興局管内関係者に対する情報提供を行った。また、狩猟を促進するために必要な道有林内の林道除雪をするなど、環境生活部、農政部と連携して対策を推進した。
		0606	農政部生産振興局技術普及課	
1(3)B	エゾシカ緊急対策本部は、エゾシカの増加を抑制し、深刻な被害を緊急に軽減させる対策を総合的に推進する。 森林被害の防止及び北海道エゾシカ管理計画(第5期)、平成31年度捕獲推進プランに基づき管理目標を実現するため、国や道、市町村等と連携したエゾシカ対策の取組や林道除雪などの捕獲環境の整備を実施する。	0302	環境生活部環境局生物多様性保全課	・各種施策を総合的に推進するため、庁内関係各部が参画する会議により、農業被害状況や新たなエゾシカ管理計画の内容を共有するとともに、今後の捕獲目標や目標達成のための方策について協議・情報交換を行った。

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

連携内容	連携先	取組の実績と成果
<p>効果的な被害対策を進めるため、国有林・試験研究機関による「エゾシカ森林被害対策連絡会」を通じて、①国有林と民有林の被害発生情報の一元化、②事業計画の情報共有、③国・道職員等の技術向上研修等を実施する。</p>	<p>北海道森林管理局など</p>	<p>・11月にエゾシカによる森林被害対策を効果的に進めるため、「エゾシカ森林被害対策連絡会」(構成員:国有林、民有林、試験研究機関)の会議を開催し、情報共有や意見交換を行った。(H30.11.26.) また、エゾシカによる森林被害状況の把握及び捕獲技術の向上を図るため、国有林・民有林・試験研究機関が連携して「平成30年度エゾシカ森林内捕獲対策研修会」を開催した。(H31.2.5札幌市)</p>
<p>渡島・石狩・釧路の各地域において、市町村、森林管理署、森林室、森林組合、試験研究機関等で構成される広域協議会や森林管理者により、森林被害を防止するため、計画的な捕獲を実施する。</p>	<p>市町村、森林管理署、森林組合 森林室、試験研究機関 など</p>	<p>・各地域において、関係機関で構成される広域協議会により、くくりワナや囲いワナを使用した捕獲を実施した。 ・渡島地域:21頭 (くくりワナ) ・石狩地域:22頭 (囲いワナ) ・釧路地域:50頭 (囲いワナ)</p>

令和元年度 基本評価調書

施策名	エゾシカ森林被害対策の推進	施策コード	07 - 02
-----	---------------	-------	---------

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1) | Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定 (H:平成 R:令和、大文字は年度、小文字は暦年) | 3-2 成果指標の達成度合

主① 指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	D	評価年度	H30	達成度合の分析 ほか
	基準年度	H5	年度	R1	最終年度	R7					
エゾシカ個体数指数(東部地域)	基準年度	H5	年度	R1	最終年度	R7	達成度合	D	評価年度	H30	・平成22年度から23年度には過去最高に達したが、平成24年度以降は目標に向けて着実に減少している。 ※達成率の算式による基準値は、第4期計画策定時(H24)における個体数指数(東部160)を用いる。
	基準値	100	目標値	101	最終目標値	50以下	年度	H30	R1	進捗率	
[指標の説明] 基準年の値を100とし、毎年実施する各種調査から得られた結果を基に、東部地域におけるエゾシカの生息動向を相対値で表したものの。	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	109	101	50	
	北海道総合計画 北海道エゾシカ管理計画(第5期)		1(3)B	減少	$\frac{((\text{基準値}-\text{実績値})/(\text{基準値}-\text{目標値})) \times 100}{}$		実績値	120	-	120	
							達成率	78.4%	-	41.7%	

主① 指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	D	評価年度	H30	達成度合の分析 ほか
	基準年度	H12	年度	R1	最終年度	R7					
エゾシカ個体数指数(西部地域)	基準年度	H12	年度	R1	最終年度	R7	達成度合	D	評価年度	H30	・平成23年度をピークとして、平成24年度以降減少傾向が見られたものの、平成28年度から再び増加に転じた可能性があり、目標達成に遅れが見られる。 ※達成率算定の基準とした第4期計画策定時(H24)における個体数指数(西部277)を用いる。
	基準値	100	目標値	209	最終目標値	150以下	年度	H30	R1	進捗率	
[指標の説明] 基準年の値を100とし、毎年実施する各種調査から得られた結果を基に、東部地域におけるエゾシカの生息動向を相対値で表したものの。	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	218	209	150	
	北海道総合計画 北海道エゾシカ管理計画(第5期)		1(3)B	減少	$\frac{((\text{基準値}-\text{実績値})/(\text{基準値}-\text{目標値})) \times 100}{}$		実績値	264	-	264	
							達成率	22.0%	-	56.8%	

● 本施策に成果指標を設定できない理由	● 達成度合について					
	達成度合	A	B	C	D	-
		直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満

令和元年度 基本評価調書

施策名	エゾシカ森林被害対策の推進	施策コード	07	—	02
-----	---------------	-------	----	---	----

Plan (目標管理型行政運営システム実施要領別紙様式1)

4 事務事業の設定

整理番号	政策体系	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの繰越事業費(千円)	令和元年度					フルコスト(千円)
						事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			
								本庁	出先機関	人工計	
0822	1(3)B	エゾシカ森林被害防止強化対策事業費	エゾシカを誘引する誘き寄せ資材を活用した捕獲効率の向上など、エゾシカ個体数及び農林業被害の軽減に係る事務	森林整備課		7,146	0	1.1	0.3	1.4	18,304
0823	1(3)B	エゾシカによる森林被害の把握	エゾシカの森林被害実態を的確に把握するための森林被害等調査実施要領の作成等に関する事務	森林整備課		0	0	0.6	0.1	0.7	5,579
1125	1(3)B	道有林エゾシカ緊急対策事業費	エゾシカ捕獲を促進するための林道除雪等の実施	道有林課		23,208	23,208	0.3	0.0	0.3	25,599
計					0	30,354	23,208	2.0	0.4	2.4	

令和元年度 基本評価調書

施策名	エゾシカ森林被害対策の推進	施策コード	07 - 02
-----	---------------	-------	---------

Do & Check 施策評価 一次政策評価結果(各部局等による評価)

5 一次政策評価結果と翌年度に向けた対応方針等

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A 100%以上	B 90%以上 100%未満	C 80%以上 90%未満	D 80%未満	- 算定不可		
1(3)B				2		D指標あり	<エゾシカ個体数指数【D】> ・生息数の減少や継続的な捕獲圧により捕獲効率が低下し、減少の速度は鈍化しているが、国の事業を活用し、被害防除対策や捕獲対策の取組を進めており、平成30年度の全道の民有林(道有林を含む)における被害面積は前年度より減少し、事業効果が現れているため、今後も継続してエゾシカ捕獲の取組を促進する必要がある。
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
計	0	0	0	2	0	D指標あり	

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○あり→対応している)	対応しているとする理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	市町村、森林組合等による被害防除対策や捕獲対策が進められていること、国有林と民有林が連携し、被害発生情報の一元化、事業計画の情報共有、国・道・市町村職員の捕獲技術の向上等の取組が進められている。
基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	○	エゾシカ捕獲率の向上に向け、国に対して必要な要望を実施している。
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	エゾシカ森林被害対策連絡協議会などにおいて地元自治体等の要望を把握し、施策や取組実施に役立っている。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか	○	国有林、民有林、試験研究機関と庁内各部が連携し、被害対策に関する会議の開催や捕獲技術の研修の実施など、関係機関と連携した取組がなされている。
	施策の推進に当たり、地域・民間との連携・協働による成果を確認できるか	○	エゾシカ森林被害対策連絡協議会の開催を通じ、情報の共有や意見交換を実施している。
判 定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b)			a

(3)総合評価と対応方針等

成果指標の分析		取組の分析	総合評価			関連する計画等		
判定(計)		判定	効果的な取組を検討して引き 続き推進			北海道創生 総合戦略	北海道 強靱化計画	知事公約
D指標あり		a						
対応方針			関連する事務事業			関連する計画等		
対応方針 番号	政策体系	内 容	方向性	事務事業 整理番号	事務事業名	北海道創生 総合戦略	北海道 強靱化計画	知事公約
①	1(3)B	・エゾシカによる植林木の被害を防止するため、市町村や森林組合等が実施するエゾシカ捕獲・防除事業への支援を図るとともに、エゾシカ森林被害対策連絡協議会等を活用した関係機関の連携強化や、道有林内でのエゾシカ捕獲の取組を促進する	改善(指標 分析)	0822	エゾシカ森林被害防止強化対策 事業費		B6212	C0142

前年度付加意見への対応状況(事務事業)

事務事業 整理番号	事務事業名	前年度付加意見	各部署の対応(評価時点)

Action 施策・事務事業評価

7 評価結果の反映

(1) 一次評価結果への対応

対応方針 番号	対応	事務事業
①	<p><新たな取組等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・エゾシカによる森林被害は依然として高水準であることから、引き続き、林道除雪やモバイルカリングの実施、小型囲いワナによる捕獲などを進めるほか、複数市町村による広域的な捕獲対策等に支援する。 ・道有林内での安全な銃猟を推進するため、連絡協議会を活用した情報共有及び意見交換を進める。また、エゾシカの安全で効果的な捕獲を推進するため、道有林内での管理型捕獲事業を実施する。 	改善:エゾシカ森林被害防止強化対策事業費

(2) 二次評価結果への対応(付加意見への対応状況)

(3) 事務事業への反映状況

方向性	拡充	改善	縮小	統合	廃止	終了	合計
反映結果		1					1

次年度新規事業 (予定)
0

整理番号	事務事業名	一次政策評価に おける方向性(再掲)	次年度の方向性 (反映結果)
0822	エゾシカ森林被害防止強化対策事業費	改善	改善